

新年度予算編成の方向 現状の課題への具体的提案

未来 質問者 玉田文江 議員

新年度予算

質問 毎週1回の手話通訳者の配置を、常駐にする考えは。

答弁 常駐の配置は予定していない。手話奉仕員養成講座を受講している職員による対応等により、来庁者に不便を

かけさせないよう努めている。その上で必要ということになれば、具体的に考えていく。

質問 障害のある方を福祉教育にとどまらず、専門家として力を生かす考えは。

答弁 障害の有無にかかわらず、技能を有効に活用できる環境づくりを、関係機関等と調整しながら進めていきたい。

質問 放課後児童クラブについて、夏休み等の4年生以上の受け入れ策の見解は。

答弁 定員に余裕のあるクラブは、試行的に実施していく。今後は拠点方式による受け入れを検討し実施していきたい。

質問 文化振興センターの展示パネルは、更新時期と考えるが計画されているか。

答弁 現時点では使用できない状況ではない。使用者からは変更の要望をいた、たいているが、すべてを更新するにはかなりの経費が必要となる。優先順位を考慮し検討したい。

現状の課題

質問 高齢者・障害者就労の促進をどう進めていくのか。

答弁 国等が実施している相談事業等を紹介するとともに、企業には、商工会議所等を通

市長就任期間10年間を振り返って 21年度予算編成／今後の教育行政

開誠会 質問者 田之上康成 議員

就任10年

質問 市長就任期間10年間で振り返って、率直な感想を。

答弁 この10年間の当地域最大のテーマは、合併であった。自分の当初からの主張に沿って1市3町1村で成就させることができた。また、新市を順調に軌道に乗せたことは、喜びと達成感を感じている。

質問 積み残した課題や、や

じて助成金制度の周知をしている。関係機関と連携し、雇用を促進していきたい。



市が主体的に始める考えは。

答弁 地域生活支援事業等で支援を行っている。また、iプラザの生活訓練室は、主として障害者の余暇活動支援の場として活用を図っていく。

質問 心理的な病欠者が増加している職員の長期休暇の問題で、実効性ある対応がされているか。

答弁 18年度より、メンタルヘルス研修を階層別を実施し、専門家によるカウンセリングルームも開設している。また、復帰に向けた数週間のプログラムを作成し、徐々に職場復帰を目指すよう対応している。

予算編成

質問 予算編成の基本的な考え方は。

答弁 基本的には、継続事業を着実に推進するものとし、新規事業は、新市長による政策的な事業を反映させるために、原則として計上しないよう指示している。

質問 金融危機から景気後退が叫ばれている。本市に対する影響はいかなるものか。

答弁 法人市民税を試算すると、20年度当初予算の約半分程度まで落ち込むことが確実視されている。21年度は、安

全・安心に係る事業以外は、事業費を大幅に下方修正しなければならぬ可能性がある。

教育行政

質問 35人学級について、来年度はどうするか。

答弁 21年度は全学年を対象とした。財政状況も勘案し、小中学校の学級編制基準を原則35人としながらも、総合的なルールを定めた。

質問 全国学力テストの結果から見える評価と課題は。

答弁 教科における正答率だけでなく、学習への関心等も高い肯定率を示した。また、地域に対する関心の高さは際立っている。児童生徒一人一人を見ると、関心、意欲等の心情面を含めた、一層の学力向上を図ることが課題であると認識している。



35人学級（ふるさと先生）

21年度予算編成 医療・福祉の諸課題／子育て支援策

公明党磐田 質問者 山際今子 議員

予算編成

質問 市民の暮らし満足度をどのように考え、めり張りのある予算編成をしていくのか。

答弁 非常に厳しい予算編成となるが、市民の暮らしに不安が生じないよう、学校の耐震化などの安全・安心を担保するようところは、着々と整備していきたい。

医療・福祉

質問 子宮頸がん検診の受診率向上のため、毎年受診できる体制づくりの考えは。

答弁 国の指針に基づき20歳以上の偶数年齢を対象として、隔年で検診を実施している。毎年の実施については、今後の検討課題としたい。

質問 高齢者が安心して移動できる交通手段確保のため、デイマンド型乗り合いタクシー導入の考えは。

答弁 モデル事業として童洋地区に導入を検討している。今後は具体的運用方法などを検討するとともに、現在の自主運行バスの代替手段として

考えていく。

子育て

質問 子育て支援において、子供を安心して預けることができる体制の充実が重要課題である。保育園待機児童の解消の取り組みと、保育ママ制度の考えは。

答弁 保育士の確保や施設整備の充実による定員増を図るとともに、民営化等を検討す



保育園

る。保育ママについては、現時点で課題も多く、今後検討を進めていきたい。

市長の政治姿勢／医療・介護・福祉の充実 子育て・教育・平和事業の推進

日本共産党 質問者 高梨俊弘 議員
磐田市議団

政治姿勢

質問 後期高齢者医療制度は廃止すべきと考えるが見解は。

答弁 持続可能な国民皆保険制度維持のため創設された制度であり、制度の周知、定着を図ることが現時点では必要と認識している。

質問 雇用破壊や貸し渋り等を行わないよう関係企業等への働きかけを。

介護

答弁 商工会議所等と連携を図り、雇用環境を守りたい。金融機関へは不当な貸し渋り等がないようお願いしていく。

質問 21年4月が改定時期の介護保険料についての見解は。

答弁 保険料算定の基礎となる介護給付費が増加したため、保険料の上昇が見込まれるが、介護給付費準備基金を充当し、

答弁 市内5カ所の私立保育園で病後児保育を実施している。21年度からは7園となるが、そのうち6園が全市の園児を対象として実施をする。

質問 里帰り出産の妊婦健診の公費助成について、開始時期や取り組み内容は。

答弁 21年4月から開始し、償還払いとして実施する。

質問 妊婦健診の14回への拡充に向けての取り組みは。

答弁 21年度は8回実施を検討しているが、国が14回実施を決定した時点で14回実施を検討していく。

保険料の増加を抑制したい。

子育て・教育・平和事業

質問 助産所での妊婦健診助成を創設する考えは。

答弁 嘱託医療機関などがあることを前提に、最初は2回で実施する。

質問 放課後児童クラブの空調設備の拡充と、利用時間や心身障害児の利用回数を拡大する考えは。



放課後児童クラブ

答弁 エアコンは25クラブ中18クラブが設置済みであり、今後も年1、2カ所の整備を計画的に実施したい。利用時間は要望の多い長期休暇の利用時間を全クラブ8時から開所し利用時間を拡大する。心身障害児の利用回数拡大は、発達支援センターの移転で空きスペースが生じたので、運営主体と調整を進めたい。

質問 すべての学年で35人以下学級の実現を。

答弁 制度の効果については効果検証委員会の報告を公表していくが、検証して効果があれば財政状況を考慮して前向きに進む。

質問 非核平和都市宣言を行い、平和事業の推進を。

答弁 核兵器廃絶平和都市宣言を含めた3つの都市宣言を、2月定例会に上程をしたい。平和事業は、被爆写真パネル展などの継続実施のほか、都市宣言制定時に新たな事業を検討したい。

一般質問

行政課題／子育て支援 公立幼稚園

公明党 鈴木喜文 議員

行政課題

質問 緊急経済対策としての定額給付金に対する考えは。

答弁 景気浮揚対策としての効果は、一定のものが期待できると考える。

子育て支援

質問 国保税滞納による保険証のない子供の現状と対応は。

答弁 国保税を納期限から1年経過しても納付せず、再三の納付指導等に応じない世帯は資格証明書となるが、現在、子供のいる世帯への資格証明書の交付はない。今後も個々の実態把握に努め、解決していきたい。

質問 特別支援教育を必要とする児童生徒の保護者が、現在通学中の学校以外の受けさせたい支援を受けさせられる、特別支援教育希望選択制度の構築を望む。見解を。

答弁 入学時や年度変わり時

すると、南御厨幼稚園では昭和54年度の113人が、本年度9人となり、92%の減少率となった。

質問 小規模幼稚園の統廃合と民営化の取り組みの考えは。

答弁 現状、具体的計画はないが、中長期的には前向きな研究・検討が必要と考える。

今後、(仮称)磐田市幼児教育振興計画を検討する中で議論を深めたい。

質問 預かり保育を拡大する取り組みを。

答弁 要望は増加していると考え。現在2園で実施しており、保育料など課題があるが、拡大の方向で検討したい。



公立幼稚園

質問 ピーク時と比較し、園児数が最も減少している園は。

答弁 5歳児で比較

地域経済を守る施策 行財政改革

日本共産党 根津康広 議員

地域経済

質問 中心市街地等の商店街について、今後の活性化策と高齢社会の中での整備計画は。

答弁 中心市街地空き店舗対策事業等によるにぎわいづくりのほか、高齢者が商店街を気軽に安心して楽しみ、生活できるコンパクトシティの

の充実策を。

答弁 市独自の支援として、農業用石油代替エネルギー施設導入に対する補助制度を新設した。一方、国でも肥料代や燃油費に対する支援策等が創設された。周知に努めたい。

質問 旧ふくで荘跡地への民間企業誘致に当たり、地域経済活性化策として行政の果たす役割は。

答弁 福田漁港周辺のインフラ整備やにぎわいづくりを進め、引き続き民間事業者の誘致事業を推進したい。



旧ふくで荘跡地

行財政改革

質問 保育園・幼稚園職員の正規雇用をふやすべきと考え。対応は。

答弁 民営化する保育園の正規保育士を各保育園・幼稚園に再配分していきたい。

質問 21年度における補助金の見直しと削減の有効的活用策は。

答弁 費用負担のあり方などの検証により生み出した財源を、重点分野に集中することを目標に取り組んでいる。事業執行に大きな支障を及ぼさないことを前提に、総額の3%程度の削減を考えている。

地域福祉計画 子育て支援策

無所属 野崎正藏 議員

地域福祉

質問 地域福祉推進地区会議の設置に向けた取り組みと、地域福祉活動拠点の整備は。

答弁 地域福祉推進地区会議は、地区社協の設立を目標に立ち上げた。豊田地区を除き組織されており、小中学校の見守り活動等を行っている。地域福祉活動拠点は、公民館

子育て支援

質問 子育て相談や交流事業等の需要に対する認識と今後の展開は。

答弁 需要は高いと認識する。今後は、出前子育て支援センターを充実させ、地域全体で子育てをしていく機運の醸成

に努めたい。

【質問】 放課後児童クラブの現状と今後の展開は。また、21年度からの運営主体は。

【答弁】 現在、待機児童は発生していないが、待機が発生しやすいクラブは、長期的な児童数の推移を考慮し、実施場所の創設も検討していく。21年度より、原則、市の直営事業とし、運営を維持していく。

【質問】 保育園の待機児童の状況は。また、今後どう待機児童の解消を図るのか。

【答弁】 現状、待機児童解消の達成は困難な状況にある。保育士の確保や施設整備により、

受け入れ児童の増加に努める。また、民営化も検討している。

【質問】 耐震性能が悪い状態の豊田南第2保育園の建てかえ計画は。また、豊田南幼稚園の遊戯室の対応は。

【答弁】 豊田南第2保育園は9月補正予算で応急補強工事を計上した。今後は、施設整備とあわせ、民営化を予定している。豊田南幼稚園遊戯室の耐震化は、22年度までに完了できるよう作業を進めている。



豊田南第2保育園

国民健康保険・介護保険行政の充実 男女平等・人権尊重／中小零細業者の育成

日本共産党 稲垣あや子 議員

国保・介護

【質問】 国保税の減免実績は。

【答弁】 20年度は10月末現在で11件の該当があり、すべて生活保護に該当するものである。

【質問】 資格証明書や短期保険証発行の現状は。また、保険証の窓口とめ置きの見解は。

【答弁】 資格証明書は納付指導等に応じないものが71世帯、短期保険証では納付指導等に

応じても納付しないものが353件で約3割、滞納金額の減少に努めないものが823件で約7割である。窓口とめ置きは、納付相談等により個々の状況を把握する上で必要と考えている。

【質問】 介護保険の要介護認定のための調査項目削減により、これまで以上に認定が軽くなる可能性が高い。見解を。

認定にどんな影響を与えるか現時点で不明である。今後も国の動向を注視し、適正な審査・判定に努めていく。

男女平等・人権

【質問】 市の管理職や審議会への女性登用をふやし、政策決定へ女性の参画を。

【答弁】 職員は研修等により養成し、管理監督職に登用したい。審議会等の委員は、いわ



た女性市民会議からの推薦など、成果も出ており、今後も人材育成に力を注ぎたい。

市内中小業者

【質問】 市内中小零細業者の育成について見解を。

【答弁】 入札制度の柔軟な対応や、優良業者の優遇措置などで育成を図っていきたい。

安心・安全のまちづくり／行政改善 地域活性化のまちづくり／行政改善

公明党 小野泰弘 議員

安心・安全

【質問】 お年寄り等の安心・安心確保のため、医療情報や保険証の写し等の本人情報を専用の容器に保管しておく「救急医療キット」の導入は。

【答弁】 緊急時に必要な情報を得られ効率的で導入しやすいので、今後検討していく。

【質問】 中小企業への緊急保証制度の対応と支援策の拡充は。

【答弁】 制度の周知と、迅速に対応できる事務処理体制を整え努力している。支援の拡充は、現在、融資に対する利子補給等を実施しており、新た

な制度の創設は考えていない。

【質問】 ケアつき住宅など、お年寄りの居住環境確保の施策が、住宅マスタープランでどう位置づけられるか。実施されるか。

【答弁】 住宅政策の方針を示す計画の策定が課題であるため、住宅事情等を分析し、市営住宅の整備方針を定める中で整備等を実施したい。ケアつき住宅など新しいコンセプトへの対応は、国の支援策等の動向を見ながら検討したい。



市営住宅

地域活性化

【質問】 地域活性化に有効な農工商連携の取り組みは。

【答弁】 意欲のある農業者等には農協等と連携し、事業化の支援をしていきたい。

【質問】 遊休農地の解消や団塊世代等の生きがいづくりに有意義な、農業塾の取り組みは。

【答弁】 現在、農協がときめき園芸教室と栽培講習会を開講しており、この事業を支援している。今後も農協と連携し事業の拡大に向け推進したい。

行政改善

【質問】 有料広告掲載の今後の展開は。

【答弁】 広告媒体として考えたものに、どのくらいの広告価値があるかを見きわめながら、引き続き広めていく。

2月定例会の予定

—2月17日～3月23日（35日間）—

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局（電話 0538-37-4822、FAX0538-37-4845）までお問い合わせください。

- 2月17日 本会議（先議議案の上程、説明・質疑等）
常任委員会
- 18日 常任委員会（審査予備日）
- 23日 本会議（先議議案の採決、予算議案等の上程・説明）
- 26日 本会議（一般質問）
- 27日 本会議（一般質問）
- 3月2日 本会議（一般質問）
- 3日 本会議（一般質問予備日）
- 4日 本会議（各会計予算に対する代表質疑）
- 5日 本会議（一般議案に対する質疑）
- 6日 特別委員会
- 9日 特別委員会
- 10日 特別委員会（審査予備日）
- 12日 常任委員会
- 13日 常任委員会
- 16日 常任委員会（審査予備日）
議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会（審査予備日）
- 23日 本会議（議案の採決等）

※いずれも午前10時から

審議結果一覧表

■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 20年度一般会計補正予算(第3号)
- (2) " 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- (3) " 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- (4) " 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- (5) " 病院事業会計補正予算(第1号)
- (6) 職員の公益法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (7) 認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (8) 国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
- (9) 竜洋昆虫自然観察公園条例の一部を改正する条例の制定
- (10) 勤労者総合福祉センター条例の一部を改正する条例の制定
- (11) 勤労青少年ホーム条例を廃止する条例の制定
- (12) 病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (13) 市立総合病院の使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定
- (14) 土地開発公社定款の変更
- (15) 人権擁護委員の候補者推薦の意見

そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 市議会議員の派遣

本会議・委員会を傍聴してみませんか

市政の様子を知るには、何といても議会を傍聴することが一番です。あなたが貴重な一票を投じた議員の発言や活動を直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。

傍聴を希望する方は、傍聴したい本会議または常任委員会等の当日、受付（本庁舎5階議会事務局内）で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取ってから、本庁舎6階の議場または委員会室にお入りください。団体の場合は、代表の方が手続きをしていただければ結構です。

ホームページを開設しています

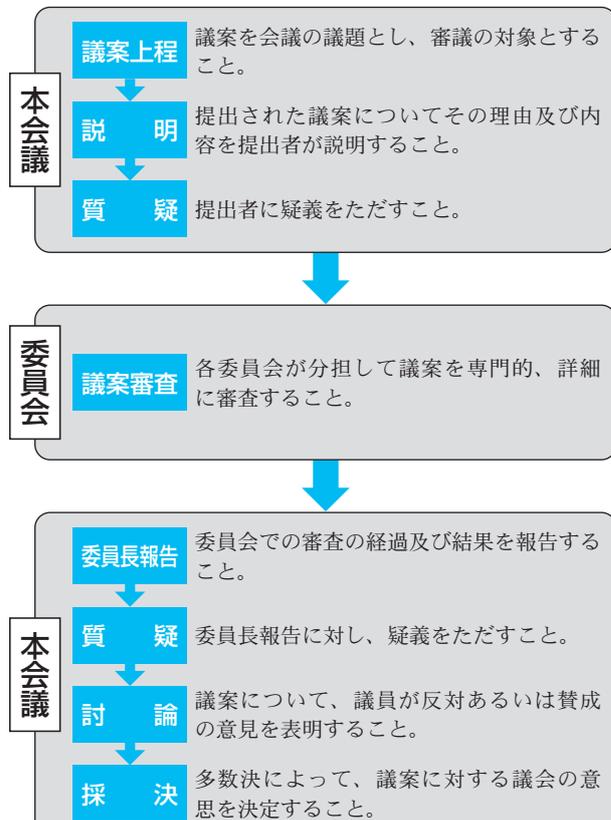
磐田市のホームページからご覧になれます。議員の紹介、議会日程、本会議・委員会の記録などを掲載しています。

<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>
(磐田市ホームページ)

「市議会情報」をクリック



議案採決までの流れ



※請願についても同じ流れです。